

# 大学自己評価部会だより

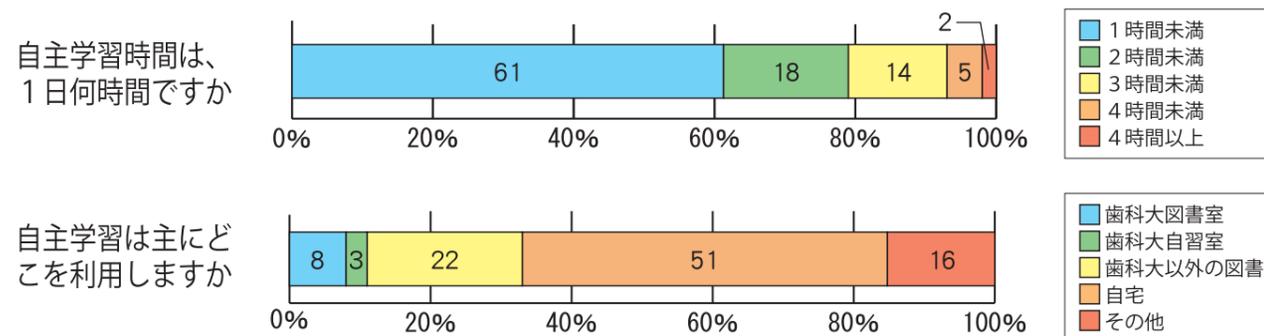
第5号 (平成20年5月)

## アンケート調査結果を報告します

平成19年4月に、学部学生2～6年生と大学院生および研修医の方々を対象にアンケート調査を行いました。今回は、学部学生のサークル活動やアルバイトなど生活実態に関する結果を報告致します。

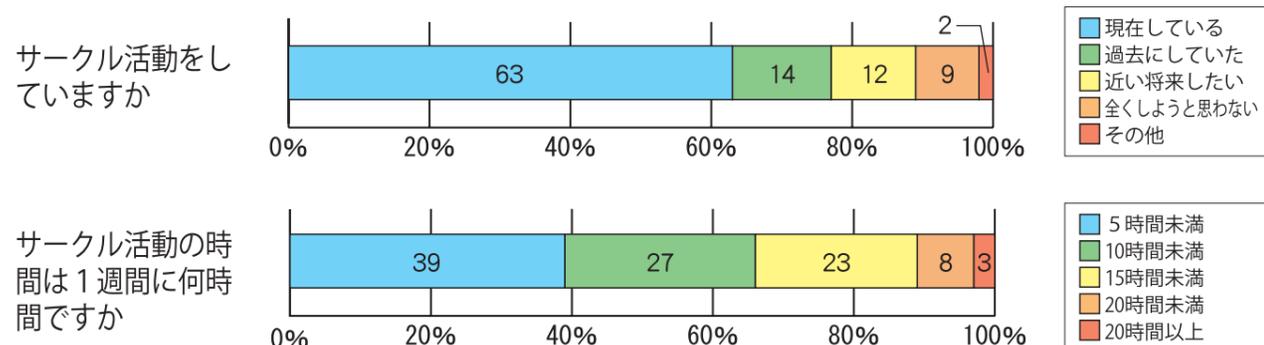
### 1) 自主学習の時間と場所

自主学習時間は61%が1日に1時間未満で、約半数が主として自宅で学習しています。歯科大学の図書館などの利用はわずか11%でした。



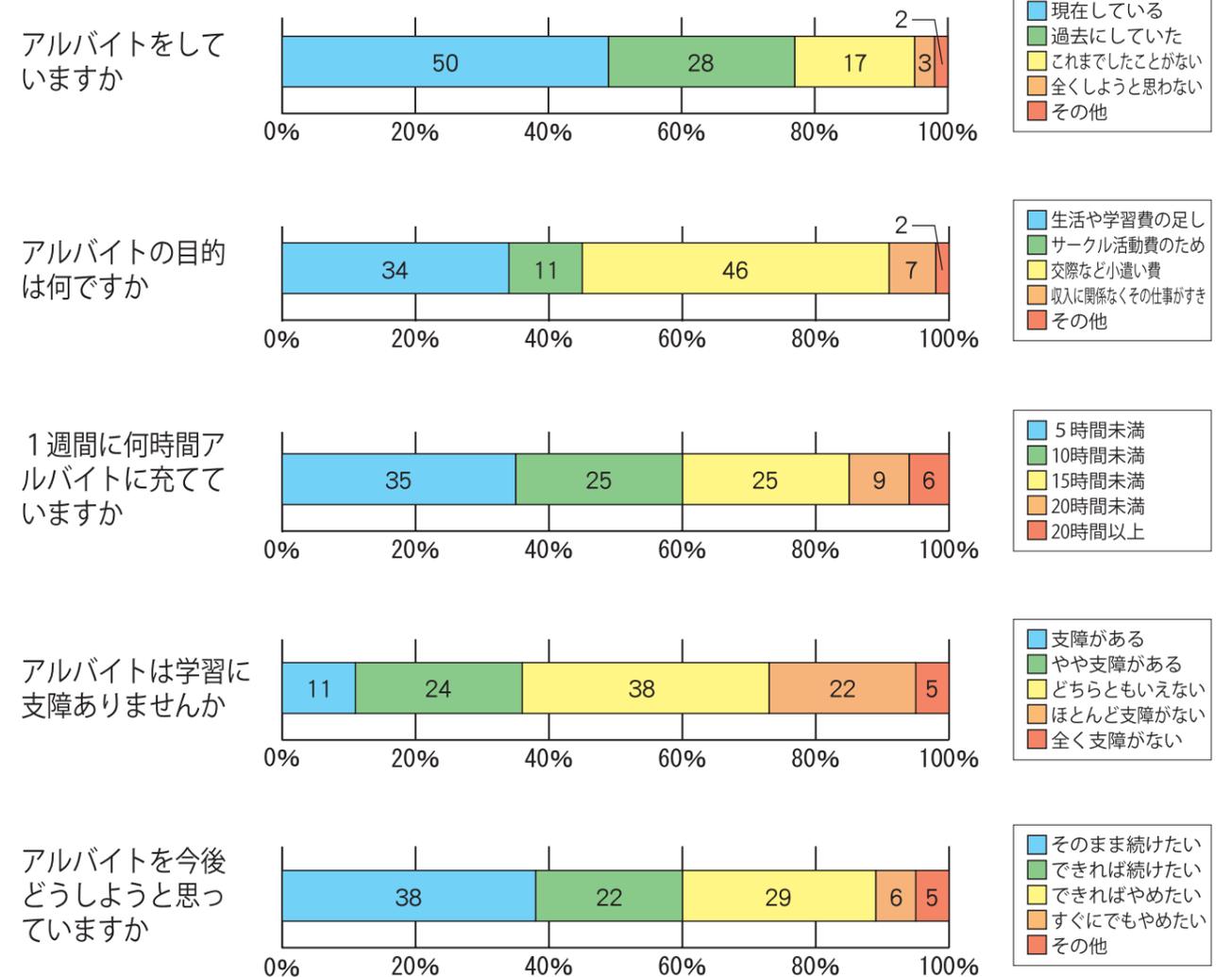
### 2) サークルおよび部活動の状況

現在、63%の人が何らかのサークルや部に所属し、非常に盛んです。活動時間は1週間に5時間未満が最も多いのですが(39%)、20時間以上の人も3%いました。



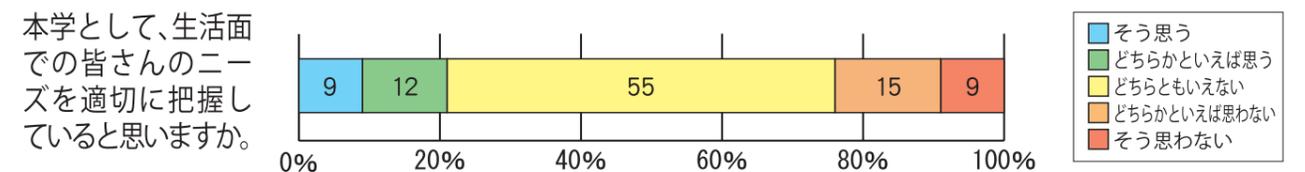
### 3) アルバイトと学習の両立

半数がアルバイトをしていて、過去にしていた人まで含めると78%でした。その目的は「交際など小遣い費」が最も多く、続いて「生活や学習費の足し」でした。しかし、現在アルバイトをしている人の中で、それが学習の支障になると思っている人は36%いて、35%が「やめたい」と考えています。



### 4) 大学は、生活面での学生のニーズを把握していると思いますか

大学は学生の生活面でのニーズを把握していると「思う」と答えたのが21%で、「思わない」と答えた24%と拮抗していました。



# 大学自己評価部会だより

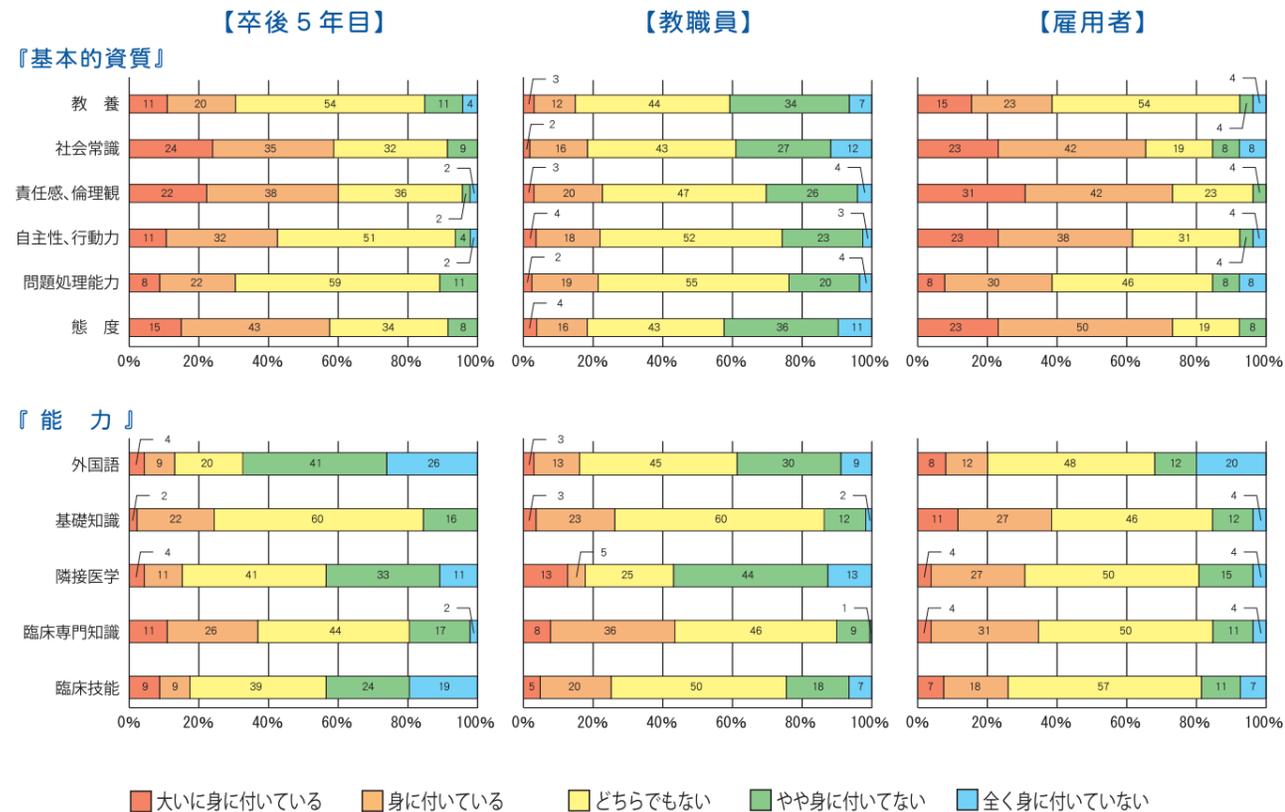
第6号 (平成20年7月)

## アンケート調査結果を報告します

平成19年4月に、卒後5年目の卒業生、教職員、雇用者の方々にアンケート調査をお願いしました。今回は、本学卒業生・大学院修了生の資質や身につけている能力について報告いたします。

### 1) 卒業生が身につけているか

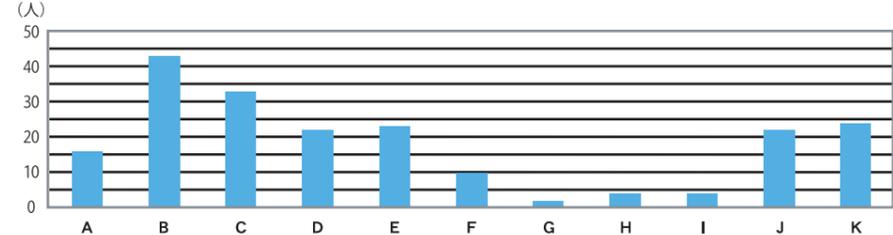
『基本的資質』については、卒後5年目の卒業生や雇用者より教職員が、身に付いているとする評価が少なかったようです。『能力』については外国語が低く、特に臨床技能については卒業生から身に付いていないという評価が多かったようです。



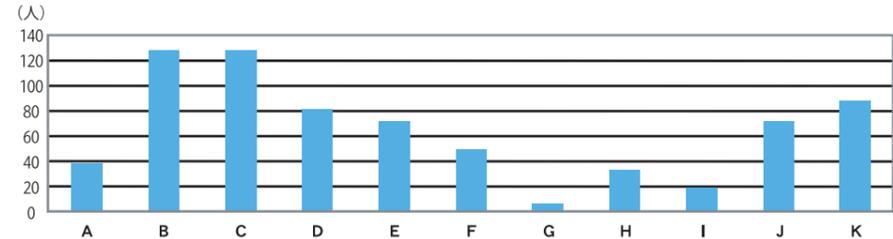
### 2) 社会に出て重要だと思われる資質

卒後5年目の卒業生と教職員が選んだ『社会に出て重要だと思われる資質』はほぼ同じ傾向でした。

【卒後5年目】



【教職員】

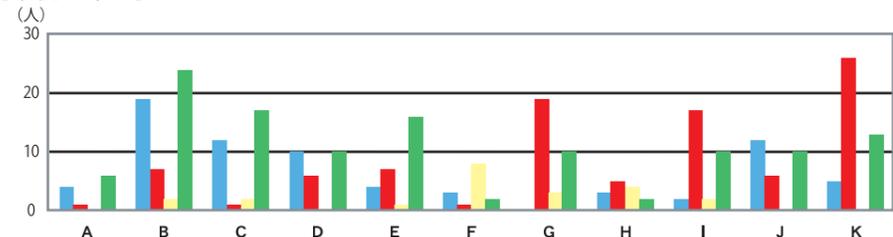


- A. 教養
- B. 社会常識
- C. 責任感・倫理観
- D. 自主性・行動力
- E. 問題処理能力
- F. 態度
- G. 外国語
- H. 基礎知識
- I. 隣接医学
- J. 臨床専門知識
- K. 臨床技能

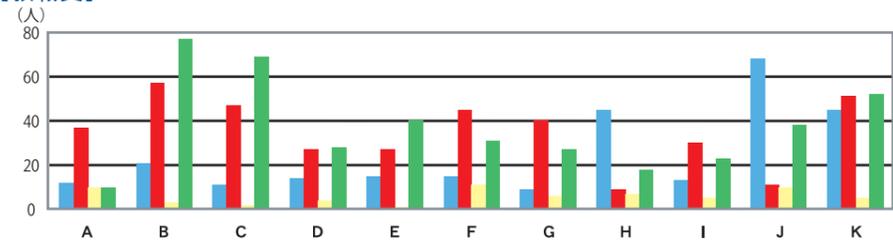
### 3) 九州歯科大学の教育の充実度

臨床専門知識は比較的充実しているが、臨床技能は不足しているという意見が多く見られました。また、卒後5年目卒業生からは外国語と隣接医学の不足が指摘されています。

【卒後5年目】



【教職員】



- A. 教養
- B. 社会常識
- C. 責任感・倫理観
- D. 自主性・行動力
- E. 問題処理能力
- F. 態度
- G. 外国語
- H. 基礎知識
- I. 隣接医学
- J. 臨床専門知識
- K. 臨床技能

- 充実している
- 不足している
- 過剰
- 今後重要

# 大学自己評価部会だより

第7号 (平成20年9月)

## 大学の理念

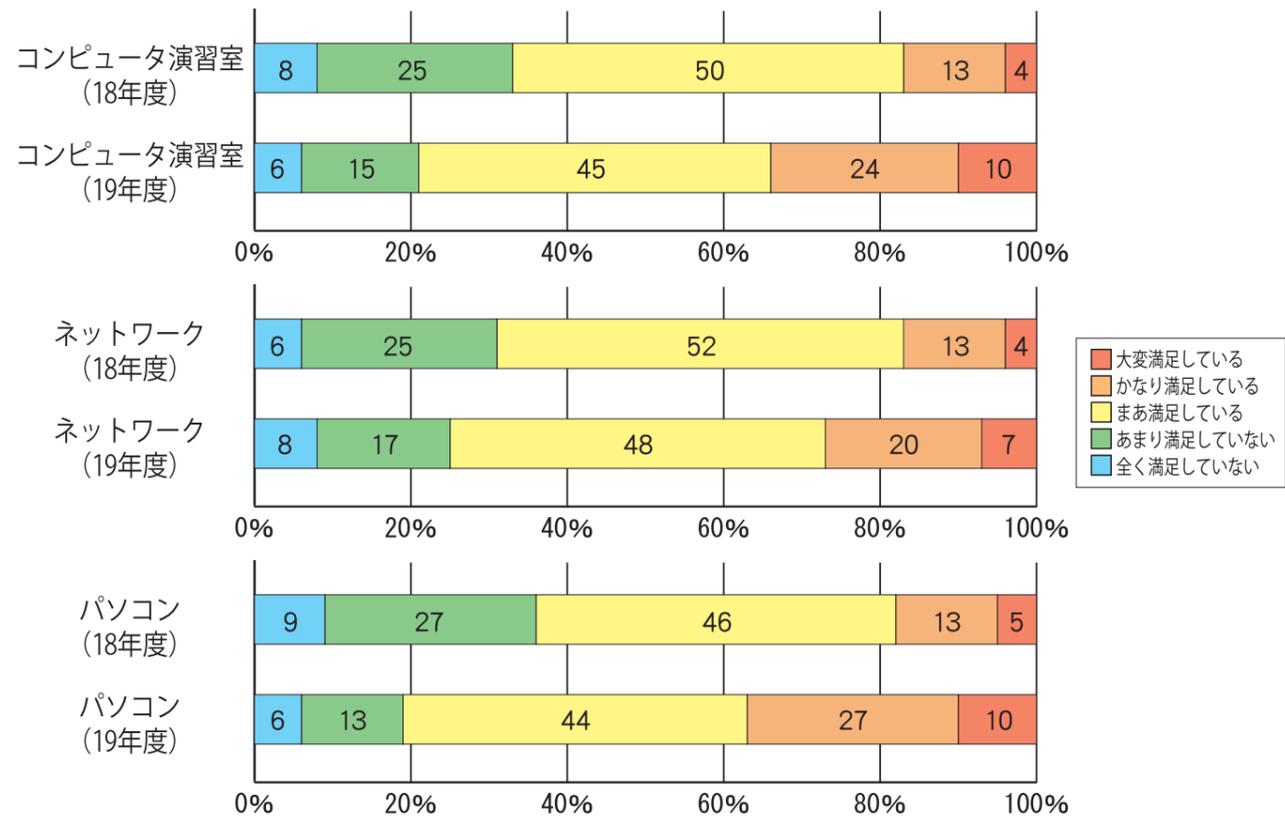
1. 高度な専門性を持った歯科医師の育成
2. 地域医療の中核的役割を果たす
3. 歯科医学を支える研究の推進

## アンケート調査結果を報告します

学部学生対象の学習環境満足度調査結果を平成18年度と平成19年度で比較しました。

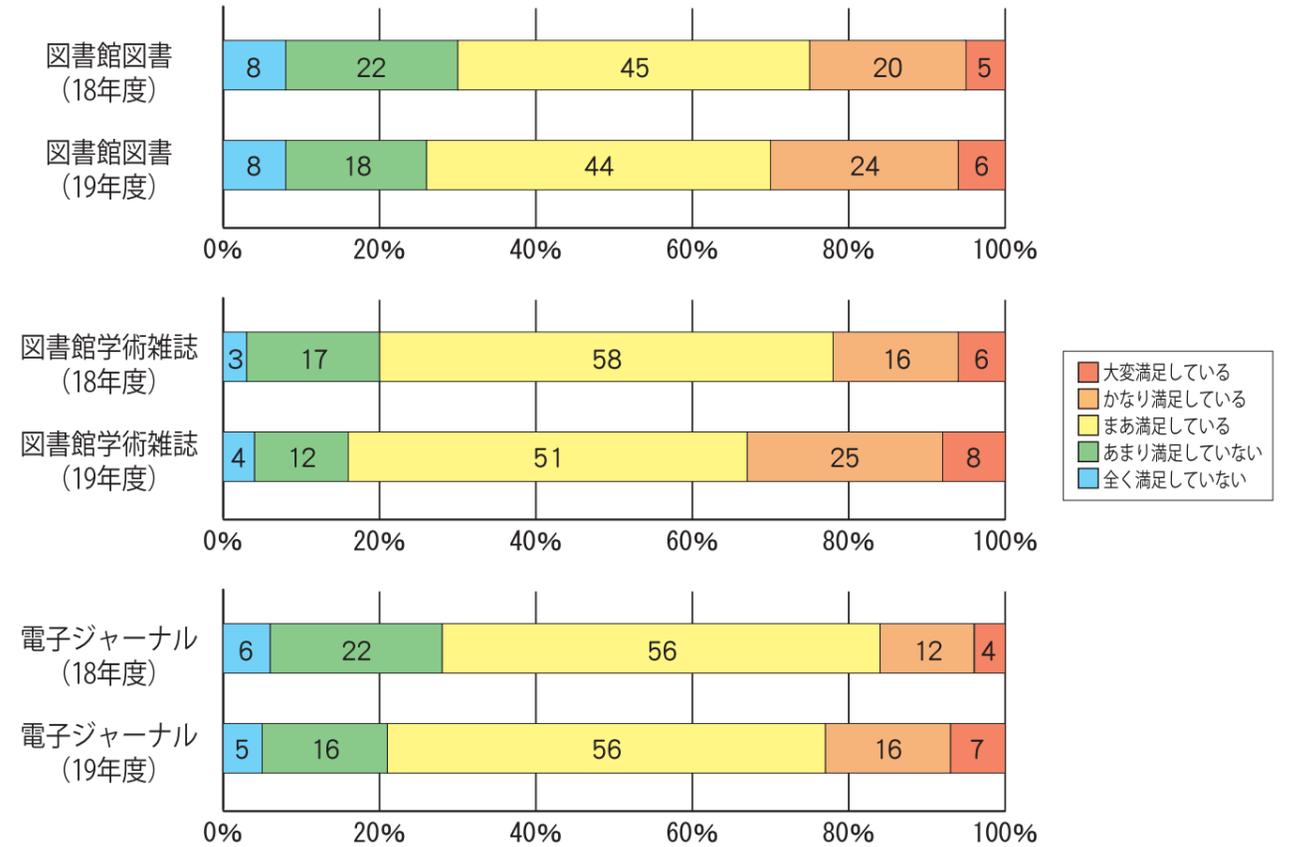
### 1) IT満足度

平成19年度は18年度よりも満足度が改善されました。



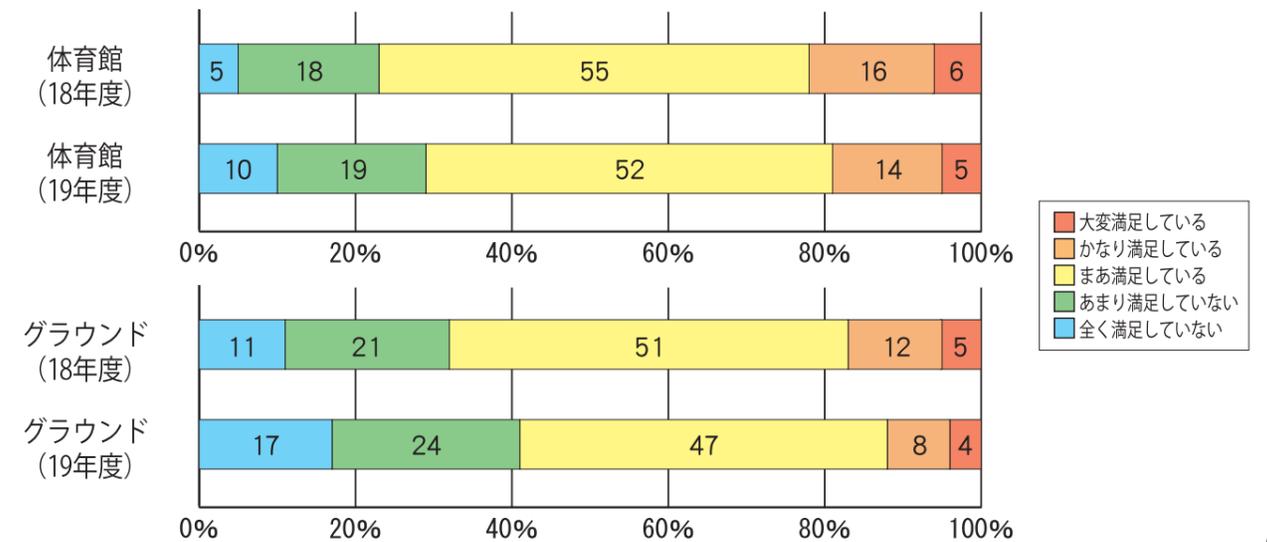
### 2) 図書館満足度

図書、学術雑誌、電子ジャーナルの満足度が平成19年度に改善されました。



### 3) 体育施設

体育館とグラウンドの満足度は改善しませんでした。



# 大学自己評価部会だより

第8号 (平成20年11月)

## 大学の理念

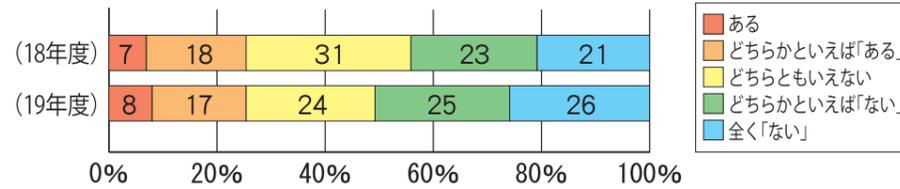
1. 高度な専門性を持った歯科医師の育成
2. 地域医療の中核的役割を果たす
3. 歯科医学を支える研究の推進

### アンケート調査結果を報告します

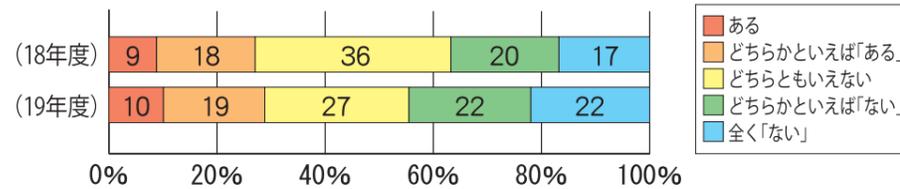
心身の健康及び学習や生活面に関する平成18年度と平成19年度の比較では、全体的に両年ともほぼ同様の傾向が得られました。

#### 1) 心身の健康

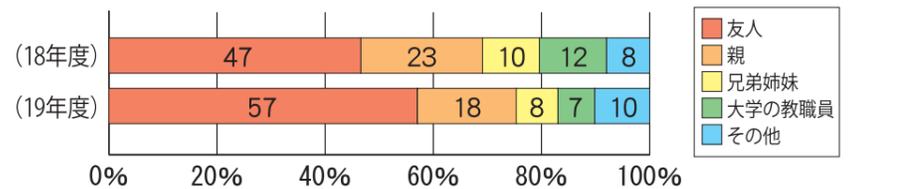
現在、健康に不安がありますか。



現在、精神的な悩みがありますか。

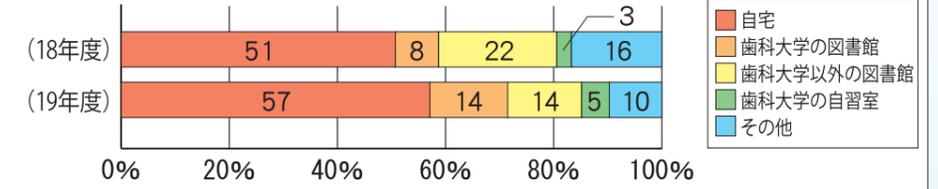


悩みを誰に相談しますか。……友人は増加し、大学の教職員は減少しました。

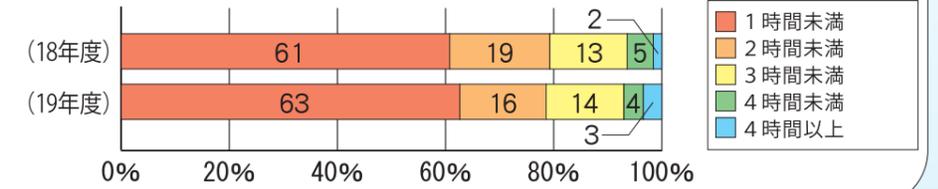


#### 2) 自主学習

自主学習は主にどこを利用しますか……歯科大学の図書館と自習室が増えました。

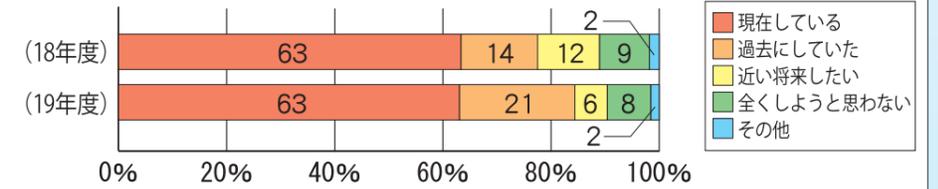


自主学習時間は、1日平均何時間ですか……4時間以上が倍増しました。

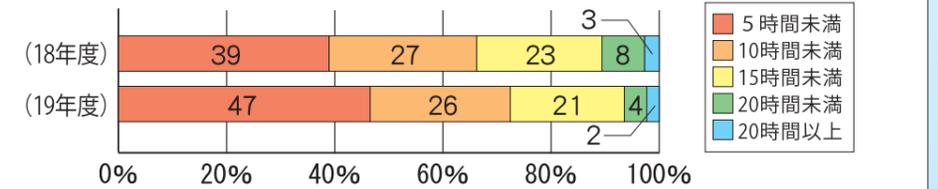


#### 3) サークル活動・アルバイト

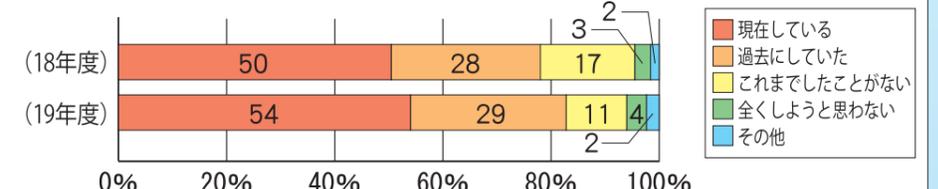
サークル活動(部活)をしていますか……していた人が増え、将来したい人が減りました。



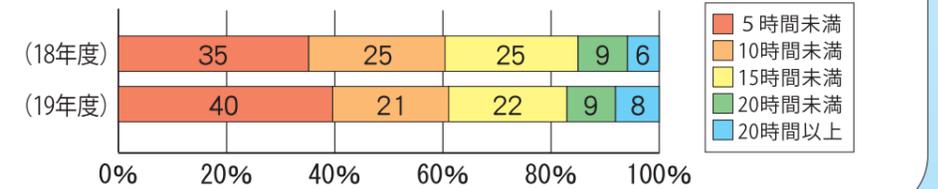
サークル活動(部活)に費やす時間は、1週間に平均何時間ですか。



アルバイトをしていますか。

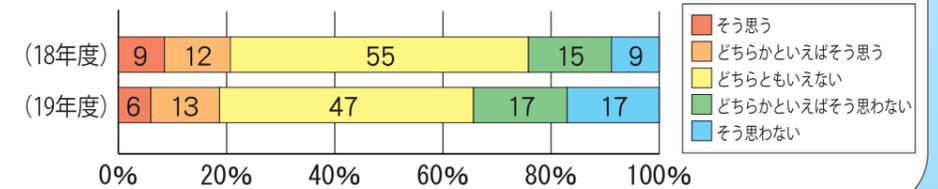


アルバイトに費やす時間は、1週間に平均何時間ですか。



#### 4) 大学は、生活面での学生のニーズを把握していると思いますか

把握していると思う人がやや減少し、把握していないと思う人が増加しました。



# 大学自己評価部会だより

第9号 (平成21年1月)

## 大学の理念

1. 高度な専門性を持った歯科医師の育成
2. 地域医療の中核的役割を果たす
3. 歯科医学を支える研究の推進

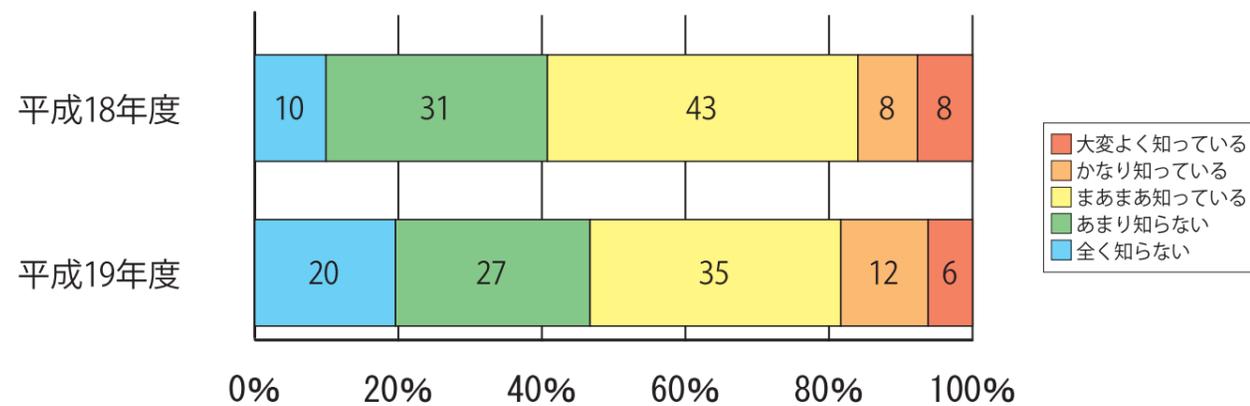
## アンケート調査結果を報告します

学部学生対象の大学理念の周知度、講義、実習および本学で受けた教育への満足度を平成18年度と平成19年度で比較しました。

### 1) 大学理念の周知度

平成19年度は平成18年度に比べ、大変よく知っているおよびかなり知っているの割合の増加が認められました。しかしながら、あまり知らないおよび全く知らないの割合の増加も認められました。

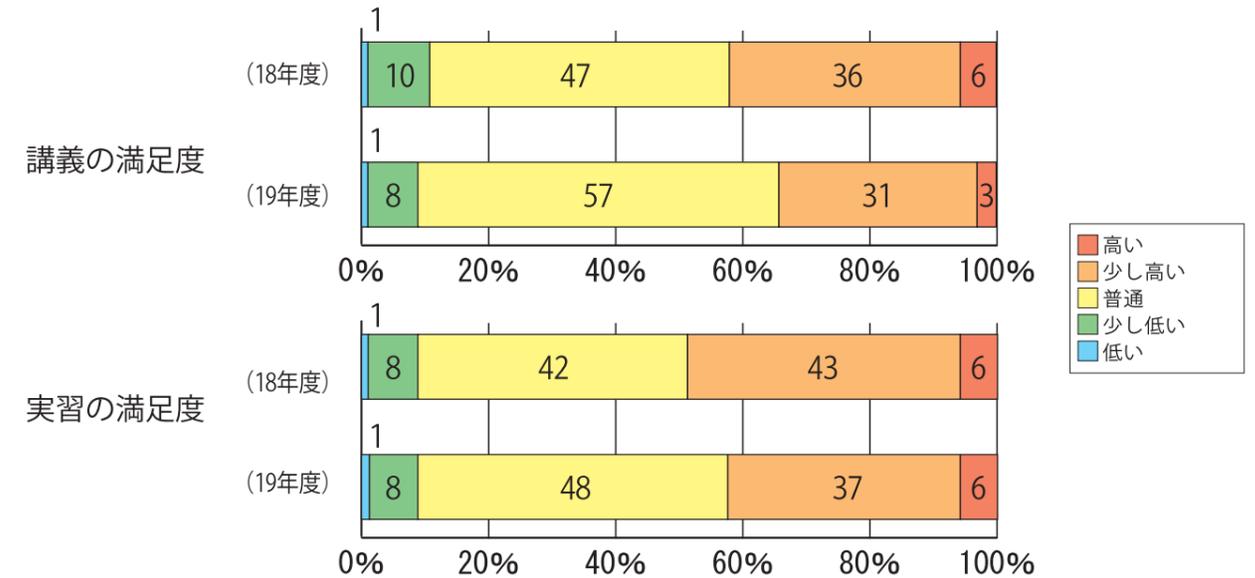
皆さん本学の大学理念をしっかりと意識して study していきましょう!!



### 2) 講義、実習の満足度

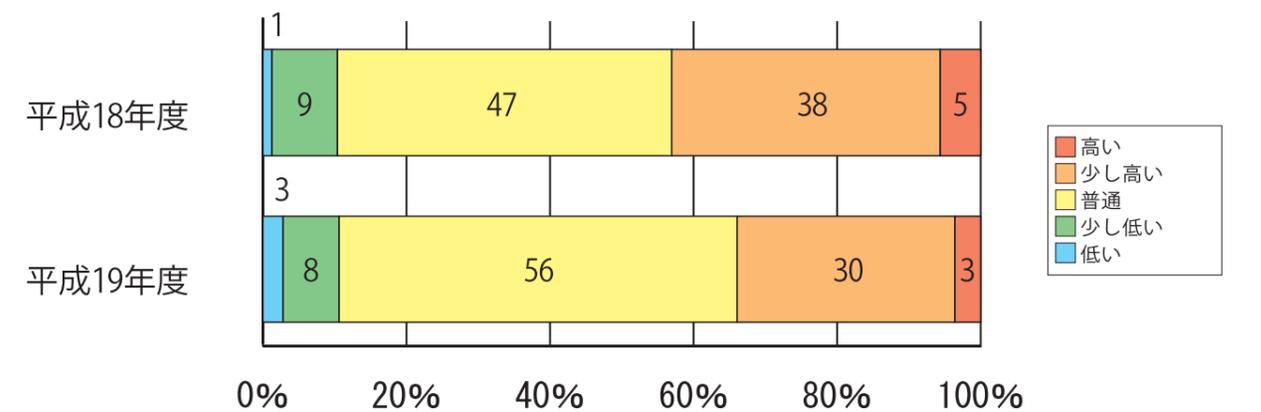
平成19年度は平成18年度に比べ、講義および実習ともに満足度の高いおよび少し高い割合の減少が認められました。

今年度からsemester制が導入され、新しいカリキュラムになりましたので、次回の調査での講義および実習の満足度がどうなるかが楽しみです。



### 3) 本学で受けた教育への満足度

平成19年度は平成18年度に比べ、本学で受けた教育への満足度の高いおよび少し高い割合の減少が認められました。今後は本学で受けた教育への満足度が上がるように教育改善の努力をしていかななくてはなりません。



# 大学自己評価部会だより

第10号 (平成21年3月)

## 大学の理念

1. 高度な専門性を持った歯科医師の育成
2. 地域医療の中核的役割を果たす
3. 歯科医学を支える研究の推進

## アンケート調査結果を報告します

大学院対象の調査結果を平成18年度と平成19年度で比較しました。

### 1) 主科目、副・選択科目の評価得点数の比較

平成19年度は、副科目と選択科目のシラバスをつくり、講義の充実を図りました。満足度・達成度を5段階評価した結果、副科目・選択科目の満足度および達成度が有意に上昇したことがわかりました。

アンケート内容	平成18年度	平成19年度	Mann-Whitney のU検定 (P値)
主科目 満足度	3.5±1.0	3.8±0.8	0.4078
主科目 達成度	3.2±0.8	3.6±0.8	0.1651
副科目・選択科目 満足度	2.9±1.1	3.6±0.7	0.0302
副科目・選択科目 達成度	2.8±1.0	3.4±0.7	0.0156

副科目・選択科目の満足度・達成度が向上!!

### 2) 研究に関する意識および実態調査結果の比較

大学院生の研究意識および実態に関する質問項目を5段階で評価し、数値化しました。平成18年度と19年度の間には、大きな変化は認められませんでした。

アンケート内容	評価(あるいは実態)					平成18年度	平成19年度
	5	4	3	2	1		
本学で行う研究について研究するための研究室や場所は充分にありますか	大変充分である	かなり充分である	まあ充分だ	あまり充分でない	まったく充分でない	3.3±0.9	3.1±1.2
現在の研究指導に満足していますか	大変満足している	かなり満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	3.2±1.0	3.3±1.1
現在の研究の進捗状況はどの程度ですか	目標に充分到達している	目標に概ね到達している	目標にある程度到達している	目標への到達が不十分である	まったく進んでいない	3.0±1.0	3.4±0.9
本学では大学の目的に沿った研究活動が活発に行われていると思います	大変充分に なされている	かなり充分 である	まあ充分だ	あまり充分 でない	まったく 充分でない	3.1±0.8	2.9±0.8

### 3) まとめとお願い

主科目や、研究に関する意識および実態調査の評価点数には変化が認められませんでした。平成19年度から改正を行った副科目・選択科目では、満足度および達成度とも評価が向上いたしました。現在、主科目の改正を行っております。

引き続き、大学院教育の改革にご協力をお願いいたします。